

## 運営促進業務報告

平成10年度第2四半期

(チーム調整員：小國 和子)

### 1) 運営促進業務等について

南スラウェシ州BAPPEDA TK-I内のプロジェクト調整事務所を中心に、機材調達、業務費管理、各種申請書、報告書などのとりまとめ等を行う。その他特記事項を以下日付順に報告する。

#### 平成10年度第2四半期

- 7月02日(木) 第2四半期申請書類提出。
- 7月03日(金) BII銀行。ハル県プロジェクト事務所新規秘書募集。新隊員ハル県知事及びBAPPEDA TK-II局長表敬用レター作成。
- 7月04日(土) 第1四半期書類(プロジェクト事務所分)について阿部野氏と意見交換。宮下氏送別会及び新隊員歓迎会(阿部野シニア宅にて)。
- 7月08日(水) 第1四半期報告書作成。
- 7月09日(木) BII銀行。第1四半期報告書作成。食用作物・小国出張分航空券購入。溝江隊員延長申請書類再作成。
- 7月10日(金) ハル県知事及びBAPPEDA TK-II局長表敬(阿部野、小國、日比野、高橋)。他JICAプロジェクト専門家と意見交換会。BIIに預金内容についてレター提出。
- 7月13日(月) 第1四半期会計報告提出。BIIにてレター内容交渉。
- 7月14日(火) BIIより証明書受け取り。第1四半期会計報告(インドネシア語版:会議用)作成
- 7月15日(水) ハル県プロジェクト事務所秘書採用面接。GA601にてジャカルタへ。
- 7月16日(木) 10時内務省BANGDA Herry Yuherman氏に溝江隊員の延長申請書類(Up Date版)提出。隊員報告書コピー。CP研修について問い合わせ。
- 7月17日(金) プロジェクト調整員会議出席。
- 7月18日(土) GA630にてクジエンパンガンに戻る。
- 7月20日(月) UNICEFと乳幼児栄養状況データについて話し合い。州BAPPEDA職員と今後の協力体制について話し合う。出張報告書作成。新隊員表敬用プリント取り。
- 7月21日(火) CP研修の件すすめる。地域保健プロジェクト訪問(助産婦キットに関する資料受取)。
- 7月22日(水) 日比野、高橋隊員BAPPEDA TK-I表敬(小國同行)。ジャカルタから牛島・飯田・高羽・中野隊員来訪。赤松専門家と意見交換会。
- 7月23日(木) 4隊員のハル訪問同行。プロジェクトメンバー会議(プロジェクト事務所にて)。
- 7月24日(金) アリエル・コンピュータにてコンピュータ修理。アストラ・モビルにて公用車修理。
- 7月25日(土) 貧困対策プロジェクトのセミナー参加。
- 7月27日(月) 貧困対策プロジェクトのセミナー参加。高橋、渡辺雅、飯田隊員入院にかかる手続き及び高羽隊員診察同行。公用車(421)エアコンベルト交換。
- 7月29日(水) 公用車(115)修理。公用車(623)オイル交換。コンクリートミキサー用エンジン修理。生活用水水質検査サンプル委託(水道局)。変圧器修理。
- 8月03日(月) 州BAPPEDAのYamin氏と年間報告書について話し合い。
- 8月04日(火) 渡辺JICAインドネシア事務所職員ハル訪問同行。州BAPPEDAのYamin氏と共にBAPPEDA BARRUにて会議(CP研修。年間報告書。ハル県事業統合実施計画書について等)。
- 8月05日(水) 7月分会計処理。車輛保険(115、114)の機材申請手続き書作成。
- 8月06日(木) 車輛保険機材申請。BAPPEDAから要請を受けた対象村別予算・活動計画作成。

- 8月07日(金) プロジェクト事務所秘書候補面接。JICA関係者会議。
- 8月10日(月) プロジェクト事務所秘書候補面接。育苗所建築業者に説明。井戸掘削業者見積受取。
- 8月11日(火) CP研修再申請書提出。プロジェクト事務所秘書決定。
- 8月12日(水) 業務費手引き(隊員用)作成。日比野隊員入院。
- 8月13日(木) ハル日帰り出張。ハラパン村市場改修現場、トンボ村育苗所建設地視察。生活用水確保事業の実施について会議。
- 8月18日(火) 名刺作成。育苗所井戸業者見積もり受取。Yamin(州BAPPEDA)と会議予定及びハル県ハル調整について討議。
- 8月19日(水) 育苗所建設候補業者との交渉。
- 8月21日(金) 水道管業者訪問(管接続についての問い合わせ)。
- 8月24日(月) 上半期プロジェクト予算実行状況まとめ。
- 8月25日(火) ハル県プロジェクト事務所にて会議  
(Ikhwanuddin(BAPPENAS);Deddy(BAPPENAS);Herry(BANGDA)ジャカルタより来訪。
- 8月26日(水) 育苗所建設業者再交渉。上半期会計報告を山本調整員に提出。
- 8月27日(木) RAKORBANG Tk-1出席。育苗所井戸掘削業者との再交渉。
- 8月28日(金) 日本より国別援助研究会調査団来訪。ハル視察同行。
- 8月29日(土) 育苗所建設にかかる契約書作成。井戸掘削業者との再々交渉。
- 8月31日(月) 生活用水確保事業資材購入。
- 9月01日(火) 育苗所建設業者選定について州BAPPEDAと協議。
- 9月04日(金) 育苗所建物建設及び井戸掘削契約締結。
- 9月08日(火) ハル県プロジェクト事務所にてプロジェクトメンバー会議。CP研修候補者書類受取。
- 9月09日(水) ジャカルタ出張。内務省BANGDA訪問。H9-1次隊員延長申請及びCP研修関連書類手続き。
- 9月10日(木) 内務省計画局及DISEKRABにてCP研修要請書類手続き補助。
- 9月16日(水) 村落開発分野生活用水確保事業資材購入。
- 9月21日(月) 第3四半期申請書類提出。
- 9月22日(火) 生活用水確保事業水源水質検査委託。資材購入。
- 9月23日(水) 生活用水確保事業資材購入。
- 9月24日(木) CP研修候補者(Mr. Syamsuddin)を貧困対策プロジェクト国内委員会委員長に紹介。挨拶。
- 9月25日(金) PMD-JICAプロジェクト事務所にてCP研修打ち合せ。

プロジェクト訪問者：

- 1) 7月22日～29日 芳島・高羽・飯田・中野隊員
- 2) 8月4日 渡辺氏 (JICAインドネシア事務所職員)
- 3) 8月28日 国別援助研究会調査団：高橋昭氏 (JICA技術参与)、原智佐氏 (JICA国総研調査研究課・課長代理)、櫻葉由美子氏 (JICA国総研調査研究課)
- 4) 9月27日 河村能夫教授 (龍谷大農業統計学; プロ技「貧困対策プロジェクト」国内支援委員長)

2) 運営管理上の問題点と事務所、事務局への要望

概観：

再赴任後、ウジエンパンドン及びプロジェクトサイトのハル県において、前四半期に起きたような大きなデモや事件は起こっていない。大規模なデモの可能性が危ぶまれた独立記念日8月17日、9月30日も何事もなく済み、社会不安の兆候は緩和されているようにも受け取られる。しかしながら、経済危機の深刻化は公務員の給与遅配や事業の縮小を招き、本プロジェクトの協力体制にも少な

らず影響を与えている。ウジエンバンガン市内では、スーパーの縮小営業や、米の質低下等がみられる。犯罪が頻発している首都ジャカルタに比べれば、落ち着いた状況であるが、プロジェクトサイトであるバムル県の更に北部に位置するピンラン県を中心に広がってきたねずみ講（KOSPIN）が崩壊し、プロジェクト対象村落地域を含む多くの住民が被害を受けるなど、経済・社会が安定化に向かっているとは言い難い。インドネシア全体を見渡せば、現在名乗りをあげている複数政党間がいかに調整され、政府に対する国民の信頼がいかに取り戻されるかが、根本的な課題とも言えるだろう。

#### 隊員業務・生活環境について：

生活環境：プロジェクトサイトでは、8月に入っても雨が降るなど、季節の移り変わりが不安定であった。気温の変化等の影響か、風邪を引くなど体調を崩す者が少なくない。7月にはプロジェクトサイトの最も山手にて複数の隊員が蜂に襲われ、入院に至った。8月には風邪をこじらせて肺炎で入院する隊員が1名いた。どちらもウジエンバンガン市内病院で入院治療を受けて順調に回復したが、現場での事業実施が本格化して疲労度も高まる中、健康管理は最重要課題のひとつとなっている。また5月の避難帰国で現場の事業開始が1ヶ月以上遅れた事が現在でも影響し、通常の赴任初期の状況に比べてどうしても負担が大きくなりがちである。農業土木分野については、同職種先輩隊員が存在しない上、季節的な制約、対象村落住民の士気等の問題点が指摘されており、今年度に予定されている改修事業を来年度に延期する可能性も出てきている。

会計業務については、現時点で決定できない幾つかの要因がある。まず、依然として比アの変動が不安定である。また9月に入り、上半期を終えようとしているが、上記の諸事柄から市場改修を除く殆どの事業がこれから本格化する段階である。一方で、物価の急激な上昇により、昨年度からの継続案件である育苗所建設委託費が見積の2.5倍の値上がり幅を見せている。更に、東南アジアの経済危機に対する緊急支援補正予算（申請額104万円）がいつ頃確定されるのかによっても現場での活動の進め方及び予算実行が変わってくることになる。これらの流動的な要因を可能な限り予測しながら柔軟に業務を進めていく事が必要である。

その他、運営促進業務に関する個別の報告については、9月に提出済の隊員報告書①号（小國和子、3ヶ月目報告書）を御参照頂きたい。

**運営促進業務報告**  
平成10年度第3四半期

(チーム調整員：小國 和子)

1) 運営促進業務等について

南スラウェシ州BAPPEDA TK. I内のプロジェクト調整事務所を中心に、機材調達、業務費管理、各種申請書、報告書などのとりまとめ等を行う。その他特記事項を以下日付順に報告する。

**平成10年度第3四半期**

- 10月1日(木) バル日帰り出張。
- 10月5日(月) 州BAPPEDAにて打ち合せ会議(実施報告書フォームについて)。
- 10月8日(木) CP研修正式承認受取、受入れ期間調整。
- 10月9日(金) 第2四半期会計報告書提出。
- 10月12日(月) CP研修送り出し手続き。
- 10月13日(火) バル日帰り出張(阿部野氏からバル会計等業務引き継ぎ)。
- 10月17日(土) バル日帰り出張(ラバン村市場撮影、市場調査分野会議出席)。
- 10月20日(火) バル日帰り出張(トボ村育苗所井戸掘削現場地質検査、会計業務)。
- 10月22日(木) 農業土木分野水門建設委託業者説明。
- 10月23日(金) JICA松井和久専門家最終レクチャー出席。
- 10月26日(月) 州BAPPEDA経済局長面談(世界銀行の対バル県支援の詳細について)。
- 10月27日(火) バル会計処理、阿部野氏に引き継ぎ。州BAPPEDA局長面談(プロジェクト評価材料について)。
- 10月28日(水) 公川車修理。家畜飼育バリ生飼育教材作成。
- 10月29日(木) 水門業者相見積もり手配、比較検討。
- 11月2日(月) 10月分調整事務所会計処理。水門業者決定。契約書作成。
- 11月3日(火) 井戸業者との交渉。育苗所水設備計画練り直し。水門業者との契約。
- 11月4日-6日 ジャカル出張(溝江恵子隊員任期終了表敬訪問同行。BANGDAと協議)。
- 11月9日(月) バル県日帰り出張(評価レポート作成についての合同会議、隊員会議)。
- 11月13日(金) バラカ村バンゲ集落生活用水事業完工式出席。
- 11月16日(月) デモ対策のため協力隊連絡所にて業務。
- 11月20日(金) 公用車(623)車輛保険更新。
- 11月30日
- 12月6日 定期健康診断。BAPPENAS及びBANGDA表敬。隊員総会
- 12月10日 安全対策調査団セミナー出席。
- 12月16日-19日 ジャカル出張(プロジェクト・コディネーター会議出席のため)
- 12月24日(月) 第4四半期申請書類提出

**プロジェクト・サイト訪問者：**

- 10月1日・17・27日 三宅久枝隊員(視聴覚教材) 生活用水確保事業、市場改修評価会議撮影。
- 12月8日 千葉大学 中村光男教授 外務省委託調査

## 2) 運営管理上の問題点と事務所、事務局への要望

### 概観：

インドネシアの全体的な様相は依然として不安定である。連日デモが行われ、諸犯罪が頻発している首都ジャカルタに比べれば、南スラウェシ州は特に大事には至っていない。しかし、プロジェクトサイトのあるパル県の北部に位置するピンタン県を中心として流布し、崩壊したねずみ講(KOSPIN)の問題は未だ全く解決されておらず、ピンタン県では県知事事務所が焼き討ちに遭うなど、暴動も生じた。幸い、パル県ではそういった出来事は起きていないが、同ねずみ講の犠牲者はパル県にも多く存在するため、問題が解決するまでは安心できない。ねずみ講とは無関係だが、調整事務所のあるウジエンハンガン市では、キリスト教会の焼き討ちがあった。これは西モール島カンで起こったイスラム寺院焼き討ちに対する仕返しとも言われているが、詳細は未確定である。12月半ばに断食に入ってから、ウジエンハンガンでは全くデモは行われていない様で、落ち着いた様相を見せている。このような中、プロジェクトでの最大の問題は、相変わらず天候である。今年はほぼ乾季がなく、第3四半期前半からは、既に本格的な雨季に入ったかのような多雨が続けている。このため、乾季裏作の落花生は、十分に実らず、また乾燥できずにだめになったものも多い。一方で、通例よりも一月近く早く、雨季稲作が開始された。多雨の影響は農作物のみならず、現在工事中の野菜育苗所建設の遅れにもつながっている。第4四半期中にこれら、未完成の事業がスムーズに進むかどうかは気候の安定にかかっているとみえる。

### 補正予算：

インドネシア国アジア緊急支援対策として組まれた補正予算枠で申請した当プロジェクト分予算が11月後半になって示達された。しかしながら、プロジェクトサイトの状況は、上記天候等の影響を受けて申請時とは大きく異なってきている。基本的に本プロジェクトからの申請はすべて1.ローカルコスト負担の項目に入るものであったが、補正予算が達までのタイムラグの間に、他ドナーの緊急支援によって事業が決定したものもある。また、申請時からかなり時間的に過ぎてしまった事により、年度末に向けて、今年度中に実施する優先度が低くなってしまった事業もある。

結果的に、プロジェクト側からの補正予算分申請事業（全て1.ローカルコスト負担）のうち、特に今年度中に実施する必要性が高く、優先度が高い研修事業関連の活動についてのみ、第4四半期申請の際に併せて申請した。

一方で、通常予算分の事業予算は、激しい物価上昇のあおりを受けて膨れ上がっている。このため、年度申請していた事業の一部について、上記補正予算を充当する形で第4四半期に申請した（食用作物分野野菜育苗所施設建設委託費）。

### 事務所・事務局への要望：

今月終盤に予定されている巡回指導調査団来訪時の協議内容について、事前にある程度インドネシア側関係機関（内務省BANGDA、州・県BAPPEDA）に情報提供し、当日のスムーズな合同協議に備えたい。既に提出済みのプロジェクト側からの「協議内容(案)」については是非御一読頂き、不明瞭な点等については、出来るだけ早くご一報願いたい。これは調査団員のみならず、ジャカルタでのミーティングにご参加頂ける全てのJICA関係者の方にも同様をお願いしたい点である。また、調査団におかれましては、イ側との協議に先立って、十分にプロジェクト・メンバーとの意見交換の時間をお取り願えれば幸いである。

## 3) 隊員業務・生活環境について

生活環境：今4半期中に、半年に1度の定期健康診断と、1年に一度の隊員総会があり、全隊員が首都ジャカルタに一週間の出張を行った。首都と赴任地パル県の生活環境のギャップのためか、

ジャカルタ移動後、バル県派遣隊員の中で体調を崩す者が続出した。うち1名は帰任後も数日の療養を要した。その後、高熱を出すものが数名続き、うち1名は入院に至った。幸い全員数日で回復しているが、雨季で気温が下がっており、特に山間部に位置する村落では風邪を引きやすい環境にある。

また、12月から2月にかけて、メンバーの殆どが順番に任国外旅行に出発する事になっており、メンバー全員が揃う時期は1月後半を除けば2月末までない。これは、12月半ばより始まる断食月に合わせたためである。通常、断食中は、都市でも農村でも仕事量、能率が激減するため、プロジェクト活動も平常通りには行えない状況となる。隊員自身、農村部に生活するため、断食中は、これまで以上に体調を崩さぬ様、注意が必要であろう。

会計業務については、年度末を見越しつつ運営している。今年度を通じた急激な物価上昇のため、全般的に財源的に余裕なくやってきたが、補正予算が追加された事によって、ある程度緩和される事になる。ただし、現在でもルピアの変動については未確定であるため、最終的な状況判断はいまだに難しく、年度末に向けて、担当調整員及びJICA事務所の御教授を仰ぎつつ進めていきたい。

**運営促進業務報告**  
平成10年度第4四半期

(チーム調整員：小國 和子)

1) 運営促進業務等について

南スラウェシ州BAPPEDA TK. I内のプロジェクト調整事務所を中心に、機材調達、業務費管理、各種申請書、報告書などのとりまとめ等を行う。その他特記事項を以下日付順に報告する。

**平成10年度第4四半期**

- 1月 4日(月) パル県の水害による被害状況確認及び対応策検討。育苗所水道業者第5回交渉。
- 1月 5日(火) 公用車(115, 114, 623, 620)の修理手続き。阿部野リガー宅への物資調達。
- 1月 6日(水) 計画打ち合わせ調査団への要望及び要検討事項作成。
- 1月 7日(木) 計画打ち合わせ調査団受入れ準備(レカー、側への調整、カット手配等)。
- 1月11日(月) 第3四半期会計報告書提出。育苗所建設業者への中間払い申請書提出。
- 1月13日(水) 育苗所水道敷設業者契約改訂版締結。
- 1月14日(木) 調査団来訪時配布資料準備。
- 1月19-20日 断食明け祝日
- 1月24-26日 計画打ち合わせ調査団同行:BAPPENAS, BANGDA表敬。
- 1月27日(水) 計画打ち合わせ調査団同行:現場視察。
- 1月28日(木) 計画打ち合わせ調査団同行:パル県にて協力先政府機関と協議。ジャカルタへ。
- 1月29日(金) 計画打ち合わせ調査団同行:ウジバンダにてBAPPENAS, BANGDA、JICA関係者とミーティング。  
JICA事務所にて所長、関連次長と協力隊事業について定例会。
- 2月 2日(月) 州BAPPEDAにてPPWT担当者会議。
- 2月 5日(金) パル県プロジェクト事務所にてメバー会議
- 2月 9日(火) 平成11年度年度申請書をJICA事務所に提出。
- 2月17日(水) 山本調整員、築山調整員、リンガさんパル来訪同行、パル泊。
- 2月24日(水) JICA事務所にて協力隊関係者定例会議。
- 2月25日(木) 内務省BANGDA訪問。関係者に会議結果報告。
- 3月 1日(月) フタイルカウンターととの州BAPPEDAミーティング。
- 3月 3日(水) パル県プロジェクト事務所にてメバー会議
- 3月17日(水) 州BAPPEDAにてPPWT技術セミナー出席。
- 3月17日  
～4月3日 名古屋大伊藤久美子さんプロジェクト訪問受入れ。
- 3月23日(火) 市場調査分野ジョイント加工事業 来年度以降計画についてのワークショップ 参加

**プロジェクトサト訪問者：**

- 1月27～28日 計画打ち合わせ調査団来訪  
[団長] 名古屋大学国際開発研究科 西村美彦教授  
国際協力事業団青年海外協力隊事務局派遣第一課 福永敬課長代理、藤田清佳職員
- 1月27日 JICAインドネシア事務所 庵原宏義所長、固山調整員来訪。現場視察。
- 2月17～18日 山本調整員、築山調整員、Ms. Lingga来訪。現場視察。
- 3月22～25日 名古屋大学国際開発研究科 博士課程前期在籍 伊藤久美子氏プロジェクト訪問。

## 2) 運営管理上の問題点と事務所、事務局への要望

### 概観：

年末から年明けにかけて南スウェーデン州全体を集中豪雨が襲い、各地で被害が生じた。バル県も例外ではなく、本プロジェクトリーダー阿部野シエ宅は床上1mの浸水の被害に遭った。プロジェクト対象村落部でも、がけ崩れや橋の決壊が起こって交通網が麻痺し、田植え後の稲を中心とする農作物や家畜に被害をもたらした。プロジェクト事業成果の中でも、唯一の灌漑施設が一部改修が必要な状態になるなど、同水害は生活環境、仕事環境の双方に深刻な影響を与えた。

そのため、1月初旬は復旧作業及び状況把握に追われた。1月中旬は、12月から始まっていた断食が明け（1月20日）、その前後1週間は協力先政府機関の機能が実質上停止していた。その次の週には日本から計画打ち合せ調査団を迎えた。結果的に1月は、落ち着いて通常業務を展開できる状況ではなかったといえる。

雨は年末年始だけに留まらず、1月から2月にかけて断続的に降り続いた。上記サイト内橋の決壊と共に、サイトに滞在していた隊員を含め、3名の隊員がバル県都に居住地を移した。このため、村落部に滞在する隊員は4月現在で3名となっている。

6月に総選挙を控え、5月のキャンペーン期間を待たず、3月に入ると各地方で選挙運動が開始された。ウツェンバングン、バルは比較的落ち着いていたが、それでも少しずつ政党の旗があちこちに立てられ、ウツェンバングンからサイトへ向かう州道沿いにも政党事務所が見られ始めた。3月には協同組合省南スウェーデン前局長の汚職をめぐってタクシー1台が焼かれたり、デモが行われたりした。また、アンボツでの暴動の影響で、キリスト教関連の住宅が放火される事件も起こるなど、治安は依然として不安定である。

### 補正予算：

第3四半期末に同補正予算の使途として述べた研修事業のための準備作業（出張）が、滞りなく行われた（第4四半期会計報告書添付「出張報告書」参照）。今回の出張成果をもとに、来年度、カシュナツ加工事業の対象者である女性の研修視察事業が行われる予定である。

### 事務所・事務局への要望：

本プロジェクトの評価及びフォローアップについて、今後、インドネシア政府側と段階的に議論を進めていく必要がある。評価方法については、1月に御来訪頂いた調査団長西村先生から頂いた案に沿って、現場の意見を現在事務所、事務局に宛てて提出中である。当意見に対する事務所、事務局のご意見、御助言をお願いしたい。また、4月初頭に阿部野リーダーより案が提出された、フォローアップ活動を担うシエ隊員の要請にかかる承認及び諸手続きについても重ねてお願い申し上げる。

1月の調査団来訪時に口頭で合意された評価セミナー開催に先立って、現在500部のプロジェクトパンフレットを作成中である。本パンフレットは、本プロジェクトの直接関係者に限らず、広くインドネシア政府、地方政策担当者によって活用される事を期待し、全てインドネシア語を用いる。一方で、インドネシアにおける協力隊員活動の事例紹介としての意義も念頭に置いているため、部数や内容について、事務所、事務局関係者の方々より広くご意見、御提案を頂ければ幸いである。

## 3) 隊員業務・生活環境について

生活環境：上記に述べた水害の影響で、隊員の生活する村落部では、水質が落ち、湿度が高く気温が低いなど、病気になるやすい環境にある。このため各隊員はこれまで以上に体調に留意する事を心がけ、大事に至る前にカシュナツで静養するなどの方法をとった。最も心配さ



れたのはリーター宅の住環境であるが、水害直後に高橋MCの指示を受けて消毒を行う等、適切な処理が行われたため、幸い、大きな問題は起こっていない。しかし一方、2月には2名の隊員が体調を崩してジャカルタで一時療養を行う等の事態も生じた。彼らの体調不良が環境の不安定さと直接関係しているかどうかはわからないが、自然環境、社会・政治的環境の全てが不安定な中で活動している現隊員の苦勞が生半可なものではない事は想像に難くない。

また活動内容に関しても、今回の被害を目の当たりにした隊員間で、より長期的展望に立って、今回同様の水害が起こっても耐え得る施工物のデザインや、土地の強化(吹き付け種子を植える等)を事業内に取り入れていく必要性等が挙げられた。プロジェクト自体は今年度で終了するが、同地域の発展を真摯に考えればこういった長期的展望に立つ事は重要であり、プロジェクト終了時の提言等に生かせればと考える。

会計業務については、第4四半期申請時に追加示達の必要性について指示を仰ぐ事となったが、事務所から適切なお指導、ご配慮を頂き、追加示達には至らなかった。平成10年度のルピア値の変動と物価の上昇は想像の範囲を大きく上回っており、予測が立て難かった。これは、平成11年度度計画作成時点でも同様である。今回計上した平成11年度予算が、果たして外的環境の変化、インドネシア政府の動向、ルピア値の変動等でどのように変化していくか、現時点では想像に難いため、平成11年度予算の実行に関しても、前年度同様の柔軟な処置を頂き、適宜ご指導願いたく、宜しくお願ひ申し上げます。特に今年度は終了年度であるため、終了処理についても指示を仰ぎたく、重ねてお願ひ申し上げます。

**運営促進業務報告**  
平成11年度第1四半期

(チーム調整員:小國 和子)

1) **運営促進業務等について**

南スラウェシ州BAPPEDA TK.I内のプロジェクト調整事務所を中心に、機材調達、業務費管理、各種申請書、報告書などのとりまとめ等を行う。その他特記事項を以下日付順に報告する。

平成11年度第1四半期

- 4月 1日(木) 平成10年度第4四半期会計報告作成。
- 4月 3日(土) 名古屋大大学院生 伊藤氏帰国
- 4月 8日(木) プロジェクト事務所にて隊員ミーティング。
- 4月 9日(金) Cellengge集落評価会議出席。
- 4月14日(水) Watu集落評価会議出席。
- 4月16日(金) Kaerenge集落評価会議出席。
- 4月23日(金) 平成10年度活動報告書及び平成11年度活動計画書(インドネシア語版)作成。
- 4月25日(日) ジャカルタへ移動。
- 4月26日(月) 健康診断。安全対策会議。
- 4月27日(火) 内務省BANGDA、BAPPENAS表敬訪問。パンフレット印刷業者と交渉。
- 4月28日(水) TVRI訪問。JICA大隅専門家面談。
- 5月 6日(木) ハループロジェクト事務所にて隊員ミーティング。
- 5月10日(月) 調整事務所パソコン修理。
- 5月18日(火) 州BAPPEDAにてYamin氏とフォローアップ、評価セミナーについての打ち合わせ。
- 5月25日(火) 高橋和志隊員(H9-3)の後任要請背景調査表作成。
- 5月26日(水) 県BAPPEDAにてDINAS、BAPPEDA TK-Iとフォローアップ、評価セミナーについて会議開催。
- 5月28日(金) TVRI(テレビ国営放送局)にてプロモーションビデオの収録。
- 6月 1日(火) ハループロジェクト事務所にて隊員ミーティング。
- 6月 7日(月) 総選挙。
- 6月10日(木) ジャカルタ出張。
- 6月11日(金) BANGDA訪問。BAPPENASとセミナー、フォローアップについて話し合い。JICA月例会議出席。
- 6月14日(月) パンフレット印刷業者と交渉。
- 6月15日(火) ウンジェバンゲン帰任。
- 6月18日(金) 東部インドネシアJICA関係者連携強化会議出席。
- 6月21日(月) 平成11年度第2四半期予算申請書提出。
- 6月24日(木) Takalar県にてプロ技「貧困対策事業」金田専門家との協力により、モヘヤ普及デモンストレーション実施。

プロジェクトサイト訪問者:

- 6月 1日 JICA専門家 松井和久氏、アジア経済研究所研究員 川村氏 プロジェクトサイト訪問。
- 6月22日 JICA専門家 保志門氏及びカウンターパート(南スラウェシ州保健技術事務所職員) 山羊事業サイト訪問。

2) **運営管理上の問題点と事務所、事務局への要望**

概観:

1

新年度が始まった。第一四半期は6月7日の総選挙に向けて、落ち着かない状態が続いた。プロジェクトは最終年度と言うことで、全般的に現状維持あるいは縮小傾向にある。一方で、事業終了に向けた、評価やまとめの動きも、村落開発普及員を中心に出てきている。しかしながら本プロジェクトが1年目を基礎調査、2年目をトライアル期間に設定してきたことから、現在行われている事業自体は開始後実質的には2-3年目であり、「終了」を迎えるという雰囲気ではない。むしろこれから継続すべき事柄を正確に掴み、インドネシア側に提示し、共通認識に立つ事が最重要であるように見受けられる。今後、最終評価を経てフォローアップ期間に入るにあたり、本プロジェクトの上記性質を充分考慮する必要があるだろう。

#### 事務所・事務局への要望:

本プロジェクトの評価及びフォローアップについて、5月末に県レベル、6月に中央レベルで会議を開催し、今後、インドネシア政府側と段階的に議論を進めていく必要性について共通認識を得た。評価方法については、1月に御来訪頂いた調査団長西村先生から頂いた案に沿って、現場の意見を現在事務所、事務局に宛てて提出済みであり、更に、上記会議の結果についても国担当職員宛にご連絡申し上げた通りである。特に、第三者評価については7月契約、8月実施を予定しているため、早急に調査案を検討する必要があり、当意見に対する事務所、事務局のご意見、御助力をお願いしたい。具体的には、これまでにJICAで実施された地域開発・村落開発分野のプロジェクト最終評価報告書の事例及び、国総研等で行われているテーマ別研究会の中で「住民参加」にかかわるもの、特に住民参加型事業の評価方法にかかわる資料、報告書を是非参考にさせて頂きたく、情報をお待ち申し上げます。

また既に提出された、フォローアップ活動を担うシニア隊員、一般隊員の要請にかかわる諸手続きについても重ねてお願い申し上げます。

プロジェクトパンフレットは、予定通り500部を作成中である。既に第一原稿が仕上がっており、7月中に印刷完成の予定である。パンフレットは、最終セミナーで配布される他、それまでにも他地域へ出張する隊員や、関係諸機関との協議の際に説明資料として活用される。また、プロジェクト終了に関わらずJICAインドネシア事務所にて保管頂き、インドネシア政府に対する協力隊チーム派遣事業の事例紹介資料として広く、長く御活用頂ければ幸いである。

#### 3) 隊員業務・生活環境について

最終年度ということもあり、隊員業務は全般的に現状維持か縮小傾向にある。最終時に向けて成果をまとめる必要性を感じる一方で、上に述べたようなインドネシアの政治、社会的不安定のために、常に頭のどこかで「もしも避難することになったら現場はどうなるか」と危惧しつつ動いてきた。幸い6月7日の選挙以降、特に大きな社会不安は生じていない。また、昨年は泣かされた多雨も、現時点では大きな問題になっていない。ただし、今年も不安定な気候が続く事が予測されており、多雨によって致命的な被害を受ける農業分野は、祈るような思いで活動を進めている。

5月から6月にかけて、ウジェンパンダン、ハルーでは風邪が流行り、複数の隊員が悩まされた。幸い誰も大事にはいならず、落ち着いた状態が戻ってきている。6月には9-3次隊の隊員が任国外研修旅行に赴き、リフレッシュをして帰任した。村落部の活動で、どうしても視野が狭まりがちな本チーム隊員にとって、国内外で他の地域を視察する意義は非常に高いと思われる。

インドネシア総選挙の開票は未だ終了しておらず、北スラウェシでは再投票の段取りもおぼつかない状態である。開票後、更に大統領選という大きな国事が控えており、今後も治安悪化や社会不安が起こらないとも限らない。現在予定されている大統領選が、ちょうど上記プロジェクト最終セミナー実施前後と重なるため、治安悪化の影響を受けることが危惧される。出来るだけ早くから準備を進め、余裕を持って対応したい。

## 運営促進業務報告

平成11年度第2四半期

(チーム調整員:小國 和子)

## 1) 運営促進業務等について

南スラウェシ州BAPPEDA TK.I内のプロジェクト調整事務所を中心に、機材調達、業務費管理、各種申請書、報告書などのとりまとめ等を行う。その他特記事項を以下日付順に報告する。

## 平成11年度第2四半期

- 7月1日(木) PMD-JICAプロジェクトセミナー出席。
- 7月7日(水) プロジェクト事務所にて隊員ミーティング。
- 7月9日(金) JICA関係者月例会議。
- 7月11日(日) 対象村落地域第2回サッカー大会開催(野菜隊員後援による)。パル県政府職員チームと親善試合。
- 7月12日(月) ハサディン大学にて最終評価委託先に対するプロジェクト紹介プレゼンテーション及び常設実施。
- 7月21日(水) パルにJICA専門家浜野氏訪問同行。
- 7月22日(木) 保健省南スラウェシ州事務所主催助産婦大会にて、モロヘイヤのデモンストレーション実施参加。
- 7月24日(土) ハサディン大学にて第三者評価委託先候補による調査内容プレゼンテーション及び討議実施。
- 7月25日(日) JICA-BAPPENAS専門家松井和久氏主催スラウェシ州BAPPEDA連携強化セミナー参加。
- 7月26日(月) 農業土木分野施工開始にかかる資材準備補助。
- 7月28日(水) ハサディン大学にて第三者評価委託にかかる最終討議。
- 7月31日(土) 農民研修終了。赤ワケギ種子受取(1.3トン)。
- 8月4日(水) 第三者評価委託先(LMI)との契約。
- 8月5日(木) プロジェクト事務所にて隊員月例会ミーティング。
- 8月6日(金) 公川車(L15, L14)車両保険更新手続き。
- 8月8-11日 ジャカタ出張。内務省、BAPPENASにて最終評価打合せ。新隊員(野菜)表敬同行。JICA事務所調整員シニア会議出席。
- 8月18日(水) BANGDA担当局長来訪。パル-BAPPEDAにて会議と現場視察。
- 9月7日(火) パルプロジェクト事務所にて隊員月例会ミーティング。育苗所水源視察。
- 9月14日(火) 高橋医療調整員パルプロジェクトサイト訪問同行。
- 9月20-22日 ジャカタ出張。BANGDAにて最終評価打合せ。CP研修派遣について協議。JICA事務所調整員シニア会議出席。パンフレット印刷業者打合せ。
- 9月27日(月) 第3四半期予算申請書提出。
- 9月29日(水) JICA定例ミーティング参加(SV山本君代氏報告)。パンフレット受取。

## プロジェクトサイト訪問者:

- 7月21日 JICA専門家浜野敏子氏プロジェクト事務所及びサイト訪問。隊員聞き取り、山羊事業サイト視察。
- 8月18日 BANGDA 担当局長Ridwan Kamarsyah 氏、Edy Anwar氏。州BAPPEDA 経済局長Zubairzuyuti 氏、経済局農業課長 Yamin氏。パラッカ村橋及び育苗所視察。
- 9月14日 高橋医療調整員プロジェクト事務所及び隊員住居、プロジェクトサイト訪問。生活状況視察。

## 2) 運営管理上の問題点と事務所、事務局への要望

## 概観:

本四半期中、インドネシアは東チモールの独立問題で反国連、反欧米諸国の動きが見られ、また銀行汚職に

絡む政治家不信も強まっていた。今後、第3四半期には国民協議会、大統領選を控えており、国家として安定する予想は未だ立っていない。9月に入ってからルビアの下落も続き、経済、社会、政治的どの側面においても好転する要素が見当たらない不安な状況にある。

当プロジェクトは12月終了に向けて、最終評価セミナーを中心とする諸活動を計画中である。今に至って、直接協力先のパル州地域開発計画局(BAPPEDA)局長、州BAPPEDA局長など、インドネシア側プロジェクト関係者の交替が相次いでおり、最終段階に共通認識を求める事が非常に困難になってきている。今後、出来る限りこれら関係者との情報交換を日常的に行なうことによってプロジェクトに対する認識を高めてもらう必要性が高い。

#### 事務所・事務局への要望:

本プロジェクトの評価及びフォローアップについて、1月の調査団来訪時協議に基づいて第一四半期中に中央レベルで会議を開催し、今後、インドネシア政府側と段階的に議論を進めていく必要性について共通認識を得た。その後、隊員による内部評価資料作成と、第三者評価調査委託を実施してきた。第三者評価については8月初頭にローカルNGOと契約し、10月半ばに報告書提出予定である。これら材料を元に10月後半から11月前半にかけて、県レベルではセミナー発表準備のワークショップを行ない、中央レベルでは評価の概要とミニッツ内容について協議を重ねていく予定である。これら諸資料については段階的に事務所、事務局にも是非ご査収頂き、11月に予定されている最終評価調査団団員及び事務局派遣第一課から事前にコメントを頂きたい。

また既に提出された、フォローアップ活動にかかる予算措置についても、御返答をお待ち申し上げる。日本側認識としてあくまでもプロジェクトは終了であるが、インドネシア側はフォローアップ時期にも隊員からの可能な限りの協力を期待している。また、双方の認識として、事業活動は縮小され、パル州政府主導となるものの、フォローアップとして約2年は継続されると考えられており、隊員派遣も計画されている。任期延長者を含めれば来年度はシニアを含めて5名、再来年度は3名の隊員が活動予定である。プロジェクト事業が自立的に継続し得ていくかどうかはむしろフォローアップ段階における今後の諸活動にかかっており、既提出の予算はそのために必須と考えられるため、重ねてお願い申し上げます。

プロジェクトパンフレットは、予定通り500部が作成された。これらはセミナー時の資料となる他、南スラウェシ州BAPPEDAを中心に広く協力隊チーム派遣の紹介資料として活用される予定である。JICAインドネシア事務所協力隊調整員の手を借りて、日本語概略も作成中であり、調査団派遣時に事務局へも資料として御渡しする予定である。

#### 3) 隊員業務・生活環境について

プロジェクト期間中最後の乾季が訪れ、隊員達は雨季の到来を恐れつつ積極的に住民と活動を展開してきた。幸い、現在まで雨季は始まっておらず、昨年度は雨に泣いた農業土木工事および野菜栽培等も順調に進んできている。7月には唐辛子、8月にはメロンの収穫を迎え、ウジェンパンガン市のスーパーマーケット等に出荷し、関係者の意識も一段と高まった。

一方、乾季の到来は必然的に隊員個々人の業務量の増加を伴い、各人に疲労感が見られる。7月には、残り任期2ヶ月となった野菜栽培の渡辺竜五隊員が、突然急激な視力低下を訴え、また以前より足に化膿傷を負っていた家畜飼育の吉田智佳子隊員も、患部の悪化によりウジェンパンガンで通院治療を行なった。両者とも順調に回復したが、多くの隊員にとってこの乾季が活動のピークであり、それぞれにあせりやプレッシャーも見られる。現在活動中の隊員のうち約半分が、プロジェクト終了後の1月初頭で任期終了予定であり、各自、活動の総まとめに取り組んできている。今後、インドネシアの社会不安が高まる中、プロジェクト業務は一層多忙を極める事が予想されるため、健康第一を心がけ、各人が充実した任期となるよう後方支援を心がけたい。

## 業務出張報告書

平成11年6月16日

国際協力事業団  
インドネシア事務所長 殿

ハル県地域総合開発プログラム実施支援プロジェクト  
平成10年シニア/チーム調整員  
( 小園 和子 )

1. 出張目的: JICAインドネシア事務所において協力隊事業関連定例会議(第3回)出席のため。  
BANGDA訪問。パンフレット印刷業者との第一回打合せ。

2. 出張日程

| 月日    | 出発地     | 到着地     | 用務              | 交通手段  |
|-------|---------|---------|-----------------|-------|
| 6月10日 | 調整事務所   | UP空港    | 移動              | 公用車   |
|       | UP空港    | JKT空港   | 移動              | GA631 |
|       | JKT空港   | JKTドミター | 移動              | 公用車   |
| 6月11日 | JKTドミター | BANGDA  | BAPPENAS, PUと会議 | 公用車   |
|       | BANGDA  | TVRI放送局 | ビデオ完成報告         | 公用車   |
|       | TVRI放送局 | JICA事務所 | 定例会議出席          | 公用車   |
|       | JICA事務所 | JKTドミター | 移動              | 公用車   |
| 6月14日 | JKTドミター | JICA事務所 | パンフレット印刷業者打合せ   | 公用車   |
|       | JICA事務所 | JKTドミター | 移動              | 公用車   |
| 6月15日 | JKTドミター | JKT空港   | 移動              | 公用車   |
|       | JKT空港   | UPC空港   | 移動              | GA630 |
|       | UPC空港   | 自宅      | 移動              | 公用車   |

3. 同行者  
大友調整員

4. 業務内容

6月10日 :ウジェンバンガン〜ジャカルタ移動。

6月11日 :BANGDA, BAPPENASとプロジェクト最終評価方法等について会議。  
所長、次長、調整員及びシニア隊員により協力隊事業に関する会議開催。

6月14日 :パンフレット印刷業者と第一回打合せ。

6月15日 :ジャカルタ〜ウジェンバンガン 移動。

5. 成果/提言

定例会議:

プロジェクトの現状について報告し、終了に向けて、所長はじめ関係者より貴重なアドバイスを得られた。また、他地域の隊員現状について必要な情報を得た。

BANGDA, BAPPENAS訪問:

先月県、州で実施した会議結果を報告し、現状と問題点、計画を話し合い、最終セミナーと評価方法について、実務レベルの共通認識が少しずつ形成されてきた。また一方で、ハル県の経験をいかに他地域の開発計画に反映させていけるかという議論が活発化してきている。行政システム自体が変化しつつある現在ゆえに、新しいアプローチを柔軟に受け入れていこうという政策者側の意向が感じられる。地方自治形態など、今後実施されるイ側行政にかかる仕組みの大きな変化の把握が、今後、実質的に有意義な協力活動を行う上で非常に重要であろう。

印刷業者との打合せ:

4-5月に準備した原稿をもとに、パンフレットの素案が出来た。細部の修正は必要であるが、大筋がまとまった。今月中にDHLを活用して更に2~3回打合せを重ね、最終的には来月初頭に印刷開始の予定である。

## 業務出張報告書

平成 11 年 8 月 12 日

国際協力事業団  
インドネシア事務所長 殿

ハル県地域総合開発プログラム実施支援プロジェクト  
平成 10 年シニア / チーム調整員  
( 小國 和子 )

1. 出張目的: JICAインドネシア事務所において協力隊事業関連定例会議(第5回)出席のため。  
BAPPENAS, BANGDAにて最終評価打合せ。H11-1加藤隊員表敬同行。  
H9-1渡辺竜五隊員最終表敬同行。

## 2. 出張日程

| 月 日   | 出発地      | 到着地      | 用務                    | 交通手段  |
|-------|----------|----------|-----------------------|-------|
| 8月8日  | 自宅       | UP 空港    | 移動                    | 公用車   |
|       | UP 空港    | JKT 空港   | 移動                    | GAGSI |
|       | JKT 空港   | JKTドミトリ  | 移動                    | 公用車   |
| 8月9日  | JKTドミトリ  | BANGDA   | 最終評価打合せ、表敬同行<br>内部打合せ | 公用車   |
|       | BANGDA   | JICA 事務所 |                       | 公用車   |
|       | JICA 事務所 | JKTドミトリ  | 移動                    | 公用車   |
| 8月10日 | JKTドミトリ  | JICA 事務所 | 月例会議出席                | 公用車   |
|       | JICA 事務所 | JKTドミトリ  | 移動                    |       |
| 8月11日 | JKTドミトリ  | JKT 空港   | 移動                    | 公用車   |
|       | JKT 空港   | UP 空港    | 移動                    | GAGSI |
|       | UP 空港    | 調整事務所    | 移動                    | 公用車   |

## 3. 同行者

阿部野シニア隊員  
渡辺竜五隊員

## 4. 業務内容

- 8月8日 :ウジエンハンタン～ジャカルタ移動。  
8月9日 :BANGDA, BAPPENASとプロジェクト最終評価方法等について会議。加藤隊員表敬同行。  
渡辺竜五隊員最終表敬同行。  
8月10日 :所長、次長、調整員及びシニア隊員により協力隊事業に関する会議開催。  
8月11日 :ジャカルタ～ウジエンハンタン移動。

## 5. 成果/提言

定例会議:

プロジェクトの現状について報告し、最終に向けて、次長はじめ関係者より貴重なアドバイスを得られた。また、最近完成した協力隊10周年記念ビデオの試映が行われ、広報の重要性と方法について話し合われた。

BANGDA訪問:

6月の会議でまとめた最終評価の一環である第三者評価の進捗状況について報告し、内容詳細について討議を行なった。また、7月にジャカルタ赴任した11-1加藤和美隊員(野菜)の表敬及び前任者である9-1渡辺竜五隊員の最終表敬同行を兼ね、紹介と報告を行なった。

## 業務出張報告書

平成11年9月23日

国際協力事業団  
インドネシア事務所長 殿

ハル県地域総合開発プログラム実施支援プロジェクト  
平成10年シニア/チーム調整員  
( 小園 和子 )

1. 出張目的: BANGDA、内務省計画局、SEKKABにてCP研修手続き。  
パンフレット印刷業者と最終打合せ。  
JICAインドネシア事務所において協力隊事業関連定例会議(第6回)出席。

## 2. 出張日程

| 月 日   | 出発地                                 | 到着地                                 | 用務   | 交通手段                 |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|----------------------|
| 9月15日 | 調整事務所<br>UP 空港<br>JKT 空港            | UP 空港<br>JKT 空港<br>JKT ドミトリー        | 移動<br>移動<br>移動                                   | 公用車<br>GA631<br>タクシー |
| 9月16日 | JKT ドミトリー<br><br>BANGDA<br>JICA 事務所 | BANGDA<br><br>JICA 事務所<br>JKT ドミトリー | CP 研修申請手続き/プロジェクト<br>現状報告/評価打合せ<br>印刷業者打合せ<br>移動 |                      |
| 9月17日 | JKT ドミトリー<br>BANGDA<br>内務省計画課       | BANGDA<br>内務省計画課<br>JKT ドミトリー       | CP 研修申請手続き(継続)<br>同上<br>移動                       |                      |
| 9月18日 | JKT ドミトリー<br>SEKKAB                 | SEKKAB<br>JKT ドミトリー                 | CP 研修申請手続き(継続)<br>移動                             |                      |
| 9月20日 | JKT ドミトリー<br>SEKKAB<br>JICA 事務所     | SEKKAB<br>JICA 事務所<br>JKT ドミトリー     | CP 研修申請手続き(継続)<br>月例会議出席<br>移動                   |                      |
| 9月21日 | JKT ドミトリー<br>JKT 空港<br>UPC 空港       | JKT 空港<br>UPC 空港<br>調整事務所           | 移動<br>移動<br>移動                                   | 公用車<br>GA601<br>公用車  |

3. 同行者  
なし

## 4. 業務内容

- 9月15日 :ウジエンハンタン〜ジャカルタ移動。  
9月16日 :BANGDAにてCP研修手続き。パンフレット印刷業者と最終交渉及び打合せ。  
9月17-18日 :上記CP研修手続き継続。  
9月20日 :所長、次長、調整員及びシニア隊員により協力隊事業に関する会議開催。  
9月21日 :ジャカルタ〜ウジエンハンタン移動。

## 5. 成果/提言

定例会議:プロジェクトの現状について報告し、最終に向けて、次長はじめ関係者より貴重なアドバイスを得られた。

BANGDA、内務省計画局、SEKKAB:本プロジェクトにおける平成11年度CP研修派遣にかかるインドネシア政府側申請手続きを補助し、正式申請が出された。

印刷業者との打合せ:今春より継続して準備してきたプロジェクトパンフレットが、5回に渡る加筆修正の末、最終原稿を完成し、印刷前の打合せを行なった。2週間程度で500部完成予定。



## 業務出張報告書

平成11年10月27日

国際協力事業団  
インドネシア事務所長 殿

パル県地域総合開発プログラム実施支援プロジェクト  
平成10年シニア/チーム調整員  
( 小國 和子 )

1. 出張目的: BANGDA、BAPPENASと最終評価打合せ。育苗所運営プロポーサル説明。  
JICAインドネシア事務所において協力隊事業関連定例会議(第7回)出席。
2. 出張日程・業務内容:

| 月日     | 出発地                                 | 到着地                                 | 用務   | 交通手段                 |
|--------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|----------------------|
| 10月24日 | 自宅<br>UP 空港<br>JKT 空港               | UP 空港<br>JKT 空港<br>JKT ドミトリー        | 移動<br>移動<br>移動   | 公用車<br>GA601<br>タクシー |
| 10月25日 | JKT ドミトリー<br><br>BANGDA<br>JICA 事務所 | BANGDA<br><br>JICA 事務所<br>JKT ドミトリー | BAPPENAS 交えて最終評価<br>調査団スケジュール及び内容<br>調整。育苗所プロポーサル説<br>明。<br>月例会議出席<br>移動 | 公用車                  |
| 10月26日 | JKT ドミトリー<br>JKT 空港<br>UPG 空港       | JKT 空港<br>UPG 空港<br>調整事務所           | 移動<br>移動<br>移動   | 公用車<br>GA630<br>公用車  |

## 3. 成果:

BANGDA、BAPPENAS協議:

11月末-12月初頭にかけて予定されている最終評価調査団来訪スケジュール及び内容調整を進めるべく、BANGDAにてBAPPENAS含め3者間で打合せを行なった。ローカルNGO委託による外部評価資料及び隊員による内部評価資料を提出、説明を行ない、今後の準備について協議し、インドネシア側との最終セミナーに向けての共通認識が高められた。

JICA協力隊調整員、シニア会議:

隊員全体行事予定についての確認が出来た。ブランチオフィスの継続についてなど、重要な事柄が検討された。またプロジェクト最終評価についての現状報告を次長、調整員に対して行なった。

## 業務出張報告書

平成 11 年 11 月 18 日

国際協力事業団  
インドネシア事務所長 殿

バル県地域総合開発プログラム実施支援プロジェクト  
平成10年シニア/チーム調整員  
( 小國 和子 )

1. 出張目的: JICAインドネシア事務所において協力隊事業関連定例会議(第8回)出席。  
BANGDA、BAPPENASと最終評価(ミニツ案)について協議。

2. 出張日程・業務内容:

| 月日     | 出発地                                  | 到着地                                 | 用務   | 交通手段                 |
|--------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|----------------------|
| 11月14日 | 自宅<br>UP 空港<br>JKT 空港                | UP 空港<br>JKT 空港<br>JKT ドミトリー        | 移動<br>移動<br>移動   | 公用車<br>GA601<br>タクシー |
| 11月15日 | JKT ドミトリー<br><br>BANGDA<br>JICA 事務所  | BANGDA<br><br>JICA 事務所<br>JKT ドミトリー | BAPPENAS 交えて最終評価<br>調査団スケジュール及び内容<br>調整。<br>月例会議出席<br>移動                             | 公用車                  |
| 11月16日 | JKT ドミトリー<br><br>農業省<br><br>JICA 事務所 | 農業省<br><br>JICA 事務所<br>JKT ドミトリー    | JICA 専門家加藤氏、小田<br>島氏と最終評価とフォローアップ<br>について意見交換。<br>ミニツ修正。JICA ホームページ<br>原稿チェック。<br>移動 | 公用車                  |
| 11月17日 | JKT ドミトリー<br>JKT 空港<br>UPG 空港        | JKT 空港<br>UPG 空港<br>調整事務所           | 移動<br>移動<br>移動   | 公用車<br>GA630<br>公用車  |

3. 成果:

BANGDA、BAPPENAS協議:

12月初頭に締結予定の最終評価及びフォローアップミニツ案について、BANGDAにてBAPPENAS含め3者間で打合せを行なった。提出済みのミニツドラフトについて説明を行ない、今後の準備について協議し、インドネシア側との最終セミナーに向けての共通認識が高められた。

JICA協力隊調整員、シニア会議:

プロジェクト最終評価についての現状報告を次長、調整員に対して行い、ミニツの締結方法、最終評価協議について重要なアドバイスを頂いた。

## 業務出張報告書

平成 11 年 12 月 10 日

ハル県地域総合開発プログラム実施支援プロジェクト  
臨時会計役 殿

ハル県地域総合開発プログラム実施支援プロジェクト  
チーム調整員 小國 和子

1. 出張目的: 最終評価調査団の受入、及び表敬同行。  
内務省及びBAPPENASにて、ミニッツ内容及びセミナー詳細について協議。
2. 出張日程・業務内容:

| 月日     | 出発地            | 到着地            | 用務                   | 交通手段  |
|--------|----------------|----------------|----------------------|-------|
| 11月29日 | 調態事務所          | MKS 空港         | 移動                   | 公川車   |
|        | MKS 空港         | JKT 空港         | 移動                   | GA601 |
|        | JKT 空港         | Hotel Mandarin | 移動                   | 公用車   |
| 11月30日 | Hotel Mandarin | BANGDA         | 調査団表敬、ミニッツ及びセミナー内容協議 | 公用車   |
|        | BANGDA         | BAPPENAS       | 同上                   |       |
|        | BAPPENAS       | JICA           | 調査団打合せ、JICA表敬        |       |
|        | JICA           | Hotel Mandarin | 移動                   |       |
| 12月1日  | Hotel Mandarin | JKT 空港         | 移動                   | 公用車   |
|        | JKT 空港         | MKS 空港         | 移動                   | GA600 |
|        | MKS 空港         | プロジェクト事務所      | 移動                   | 公用車   |

## 3. 出張経費内訳:

| No. | 摘要                                       | 単価 (Rp.)  | 回数/<br>日数 | 概算支出<br>*1 | 精算支出<br>*2 | 差額         |
|-----|--|-----------|-----------|------------|------------|------------|
|     | 11月24日付入金                                | 2,692,000 |           | 2,692,000  |            | 2,692,000  |
| 1   | 航空券代(Makassar-Jakarta往復)                 | 2,150,000 | 1         |            | 2,150,000  | 542,000    |
| 2   | ウジェンハンタン空港使用料                            | 9,000     | 1         |            | 9,000      | 533,000    |
| 3   | ジャカルタ空港使用料                               | 11,000    | 1         |            | 11,000     | 522,000    |
| 4   | 日当(11月29-1,3日間)                          | 174,000   | 3         |            | 522,000    | 0          |
| 5   | 宿泊費(実際にかかった宿泊費一泊Rp.533,500内、規程による上限分を支給) | 529,000   | 2         |            | 1,058,000  | -1,058,000 |
|     | 合計                                       |           |           | 2,692,000  | 3,750,000  | -1,058,000 |

注\*1: 規定上、ジャカルタ上京時は隊員宿泊所(トミリー)に滞在することとなっているため、宿泊費は概算支出しなかった。

注\*2: プロジェクトサイトへの早朝移動や、調査団との打合せが深夜に及ぶなど、業務効率上の必要性が高いことに加え、総会直前で、隊員宿泊所に空きがなかったため、調査団滞在先ホテルへの宿泊となった。

## 4. 成果:

調査団受入:

最終評価調査団来訪を迎え、来月2,3に予定されている採集評価セミナー及び6日に予定されているミニッツ締結に先んじて、評価方法及び内容について打合せを行なった。

BANGDA、BAPPENAS訪問:

調査団の表敬を行ない、併せてミニッツ内容及び評価セミナー実施の詳細について協議し、調整を進めた。

## 業務出張報告書

平成12年1月 5日

ハル県地域総合開発プログラム実施支援プロジェクト  
臨時会計役 殿

ハル県地域総合開発プログラム実施支援プロジェクト  
チーム調整員 小國 和子

1. 出張目的: BANGDA、BAPPENASにてプロジェクト終了・機材供与報告。  
CP研修VISA手続き促進。JICA調整員シニア定例会議出席。

2. 出張日程・業務内容:

| 月日    | 出発地  | 到着地  | 用務   | 交通手段         |
|-------|--|--|--|--------------|
| 1月18日 | JICA事務所<br>MKS空港<br>JKT空港<br>JICA          | MKS空港<br>JKT空港<br>JICA<br>JKTドミター            | 移動<br>移動<br>CP研修必要書類入手<br>移動               | 公川車<br>GA631 |
| 1月19日 | JKTドミター<br>日本大使館<br>JICA                   | 日本大使館<br>JICA<br>JKTドミター                     | VISA申請手続き<br>移動                            |              |
| 1月20日 | JKTドミター<br>BANGDA<br>BAPPENAS<br>JICA      | BANGDA<br>BAPPENAS<br>JICA<br>JKTドミター        | プロジェクト終了・CP研修経過報告。<br>移動                   | 公用車          |
| 1月21日 | JKTドミター<br>日本大使館<br>JICA<br>JKT空港<br>MKS空港 | 日本大使館<br>JICA<br>JKT空港<br>MKS空港<br>プロジェクト事務所 | パスポート受取<br>CP研修者との最終打合せ。<br>移動<br>移動<br>移動 | GA630<br>公用車 |

3. 出張経費報告:

|   | 摘要                       | 単価(Rp.)   | 回数/日数 | 支出        |
|---|--------------------------|-----------|-------|-----------|
| 1 | 航空券代(Makassar-Jakarta往復) | 2,150,000 | 1     | 2,150,000 |
| 2 | ウジェンパンタン空港使用料            | 9,000     | 1     | 9,000     |
| 3 | ジャカルタ空港使用料               | 11,000    | 1     | 11,000    |
| 4 | 日当(1月18-21,4日間)          | 174,000   | 4     | 696,000   |
|   | 合計                       |           |       | 2,866,000 |

4. 成果:

BANGDA、BAPPENAS訪問:

12月31日のプロジェクト終了に伴う諸手続き(特に機材供与、事務所閉所、報告書作成等)の経過について報告し、今後の中央レベルからのサポートについて協議を行った。

1月23日出発予定のCP研修手続きの経過について報告し、プログラム内容を説明して、帰国後の派遣者の身分保証を再確認した。

CP研修出発手続き:

JICA事務所で必要書類を受け取り、研修参加者の一般パスポートを提出し、ビザを取得。JICA事務所研修担当者から留意点について説明を受ける。JICA事務所にて、研修参加者に対して日本到着後の詳細について、最終確認し、出発前の諸手続きを終えた。

H-BAPPEDA 様材料受取証明書  
 (県レベルでは未実施懸念、2阿部特  
 )-9"-5) 報告)。

IMPLEMENTATION SUPPORT FOR INTEGRATED AREA DEVELOPMENT PROJECT IN BARRU DISTRICT  
 JICA  
 TEAM COOPERATION BY JUNIOR EXPERT  
 Kantor Gubernur Gedung I Lt. 2  
 Jl. Urip Sumoharjo Km. 5 No. 269  
 Ujung Pandang 90231  
 Telephone/ Faximile (0411) 45104

**BERITA ACARA PENYERAHAN BARANG INVENTARIS  
 KANTOR JICA PROPINSI SULAWESI SELATAN  
 TAHUN ANGGARAN 1995/ 1996 S/D 1999/ 2000**  
*Nomor: TCJE/LT/ 04/ FEB/ 00*

Proyek : Implementation Support For Integrated Area Development Project In  
 Barru District  
 Bagian proyek : Proyek Pengembangan Wilayah Terpadu (PPW-T)  
 Alamat kantor : Jl. Urip Sumoharjo No. 269, Makassar  
 D a r i : Pimpinan JICA Propinsi Sulawesi Selatan  
 K e p a d a : Bapak Ketua BAPPEDA TK. I Propinsi Sulawesi Selatan

Pada hari ini, Jumat, tanggal Sebelas Bulan Februari Tahun Dua Ribu, kami yang bertanda tangan di bawah ini:

I. Nama : MR. ABUNO HAJIME  
 Jabatan : Ketua Tim Junior Expert JICA  
 Alamat : Barru  
 Yang selanjutnya disebut Pihak Pertama (I)

II. Nama : DRS. MOH. ALWY RUM  
 Jabatan : Ketua BAPPEDA TK. I Propinsi Sulawesi Selatan  
 Alamat : Makassar  
 Yang selanjutnya disebut Pihak Kedua (II)

Pihak Pertama telah menyerahkan Barang Inventaris Proyek JICA Tahun Anggaran 1995/ 1996 s/d 1999/ 2000 dalam kondisi baik kepada Ketua BAPPEDA TK. I Propinsi Sulawesi Selatan. (Daftar barang-barang yang telah diserahkan terlampir dalam surat ini).

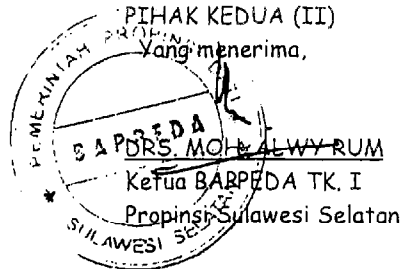
Pihak Kedua telah menerima lengkap dalam keadaan baik barang-barang inventaris JICA Tahun Anggaran 1995/ 1996 s/d 1999/ 2000 oleh Pihak Pertama. Barang yang telah diserahkan tersebut akan dipergunakan sebagai mana mestinya dan akan dipertanggungjawabkan pengeoperasian serta perawatannya oleh Pihak Kedua.

Demikian berita acara penyerahan ini dibuat dalam rangkap 10 (sepuluh) dan ditandatangani oleh Pihak Pertama dan Pihak kedua.

Dikeluarkan di : Makassar

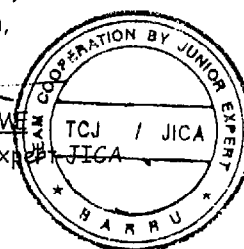
Pada tanggal : 11 Februari 2000

PIHAK KEDUA (II)  
 Yang menerima,



PIHAK PERTAMA (I)  
 Yang menyerahkan,

*MR. ABUNO HAJIME*  
 MR. ABUNO HAJIME  
 Ketua Tim Junior Expert



## LAMPIRAN I

LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT PROVIDED BY JICA  
FOR BAPPEDA AT PROVINCIAL LEVEL, SOUTH SULAWESI PROVINCE

| No             | Name *2   | Year/Month /Day | Price Unit:Rp.) | VOL. | Condition | Notes |
|----------------|---|-----------------|-----------------|------|-----------|-------|
| <b>FY1994</b>  |   |                 |                 |      |           |       |
| 1              | Photocopy machine(XEROX V-500)                      | 27/01/95        | 35,860,000      | 1    | C         | *1    |
| 2              | DAIHATSU HI LINE/DD421                              | 09/02/95        | 55,716,200      | 1    | B         | *1    |
| 3              | Fax machine(XEROX-7016)                             | 16/03/95        | 3,028,600       | 1    | A         | *1    |
| <b>FY 1995</b> |   |                 |                 |      |           |       |
| 4              | Safty Box   | 16/08/95        | 627,000         | 1    | A         | *1    |
| 5              | Air Conditioner(CW70L3225)                          | 06/12/95        | 2,246,000       | 2    | A         | *1    |
| 6              | Office Accessories (barang terinci dalam lampiran 2 | 08/03/96        | 2,948,729       |      | A         | *1    |
| 7              | Laser Printer(HP Laserjet 4V)                       | 15/03/96        | 5,400,000       | 1    | C         | *1    |
| 8              | Computer(AcerPower Ultima) and desk                 | 15/03/96        | 9,450,000       | 1    | A         | *1    |
| 9              | TV(SONY KV2567MNT)                                  | 22/03/96        | 2,194,000       | 1    | A         | *1    |
| 10             | Video machine(SONY SLV-K872MN)                      | 22/03/96        | 2,004,000       | 1    | C         | *1    |
| 11             | TV desk   | 22/03/96        | 275,000         | 1    | A         | *1    |
| <b>FY 1996</b> |   |                 |                 |      |           |       |
| 12             | FAX Modem(Hayes 14,400)                             | 11/11/96        | 500,000         | 1    | B         | *1    |
| 13             | Book Rack(Brother)(Lemari Buku)                     | 15/11/96        | 495,000         | 4    | A         | *1    |
| <b>FY 1997</b> |   |                 |                 |      |           |       |
| 14             | Computer(ACER EXTENSA 355 )                         | 27/03/98        | 14,500,000      | 1    | C         | *1    |
| 15             | Brother Book rack B-304(Lemari Buku)                | 27/03/98        | 750,000         | 2    | A         | *1    |

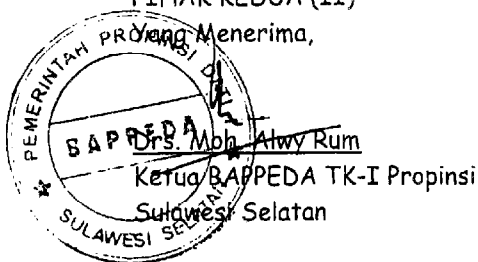
Condition : A:very good B:good C: not good D:abandoned

Keterangan \*1: Seluruh Barang tersebut diatas telah diserahkan dan diterima dalam kondisi baik dan akan dipertanggungjawabkan sepenuhnya oleh PIHAK Kedua (BAPPEDA TK-I Propinsi, Sulawesi Selatan) dan juga dalam pengoperasian dan perawatan.

\*2: Penyerahan Barang tersebut berdasarkan kesepakatan diantara JICA dan Pemerintah Indonesia yang telah ditandatangani pada Minutes of Joint Evaluation Meeting pada tanggal 6 Desember 1999 di BAPPENAS, Jakarta.

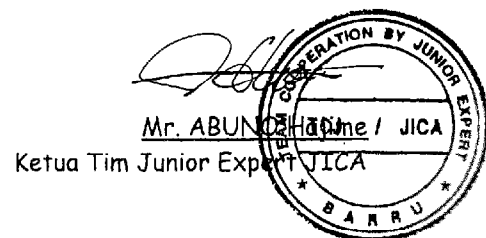
PIHAK KEDUA (II)

Yang Menerima,



PIHAK PERTAMA(I)

Yang Menyerahkan,



## LAMPIRAN 2

## IMPLEMENTATION SUPPORT FOR INTEGRATED AREA DEVELOPMENT PROJECT IN BARRU DISTRICT

JICA  
 TEAM COOPERATION BY JUNIOR EXPERT  
 Kantor Gubernur Gedung I Lt. 2  
 Jl. Urip Sumoharjo Km. 5 No. 269  
 Ujung Pandang 90231  
 Telephone/ Faximile (0411) 45104

DAFTAR PERINCIAN KHUSUS OFFICE ACCESSORIES YANG TELAH  
 DISERAHKAN KEPADA BAPPEDA TK. I  
 PROPINSI SULAWESI SELATAN

| NAMA BARANG                                     | VOLUME      |
|---|-------------|
| Lemari:<br>Merek Olympic                        | 3           |
| Meja:<br>Meja Kerja<br>Meja Komputer            | 3<br>3      |
| Kursi:<br>Kursi Kerja<br>Kursi Lipat            | 6<br>4      |
| Sofa:<br>Meja Besar<br>Meja Kecil<br>Kursi sofa | 1<br>1<br>3 |
| Rak Serba Guna                                  | 2           |

DAFTAR ACCESSORIES KHUSUS MOBIL HILINE DD 421

| NAMA BARANG     | VOLUME |
|-----------------|--------|
| Tape            | 1      |
| Air Conditioner | 1      |